

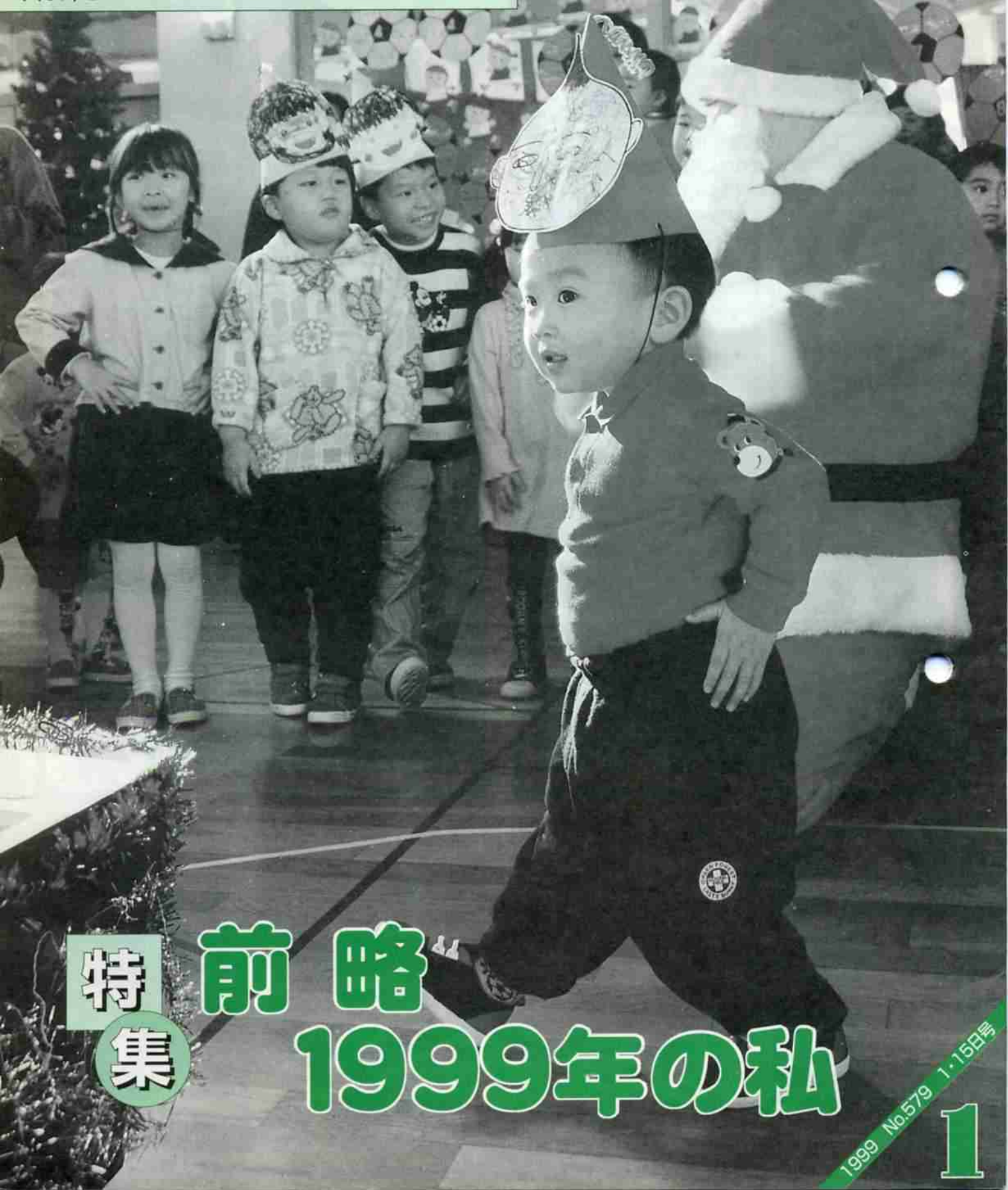
のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

12月16日(水)、栄町保育所で「クリスマス会」が開かれ、80人の子どもたちによる劇や楽器演奏などが父母らに披露されました。

会の終わりには、サンタクロースが登場し、子どもたちは思い出に残る楽しいクリスマスを過ごしていました。



特集

前略
1999年の私

1999 No.579 1・15日号

1



登別市議会議員
山本茂治

明けましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会運営につきまして、深いご理解と格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、金融ビッグバンによる金融再編成や雇用不安などにより、戦後最悪の経済状況にあって、市民生活の先行きにも不透明な年でありました。

当市においても、その影響を受け、さらに厳しい財政運営が強いられることが予想されます。

今、地方にも行財政改革が強く求められているところであり、議会といたしましても、今年行われる統一地方選挙より、4名の議員定数の削減を行うとともに、議会の活性化や充実を図るため、議会改革の推進に努めてまいりました。

今後、地方分権化、高齢・少子化、高度情報化などがさらに進展する21世紀社会を迎えるに当たり、議会の果たす役割はますます重要になってまいります。

住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる夢と希望のもてる、ふるさと『登別』をつくるため、議会の機能と権能を十分発揮し、議員全員が一丸となって市民のみなさまの負託に全力をあげてまいりますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

この一年が、市民のみなさまにとってよりよい年になりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長
上野晃

明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、当市の発展と市民福祉の向上のため、ご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、ますます進展する少子高齢化や情報化、国際化、あるいは環境ホルモンに象徴される環境問題など、将来のまちづくりにとって看過できない課題が提起される一方、長引く景気低迷の中、地域経済のあらゆる分野で苦戦を強いられた厳しい年でありました。

その中でも、懸案の新ごみ処理施設の建設や介護保険制度開始に向けての具体的な準備、医療、保健施設の充実、商店街近代化への取り組みなど、市民のみなさまのご理解とご協力をいただきながら進めることができました。また、フロンを使わない冷蔵庫を製造する企業の進出を新たに見るなど、厳しい中にも将来につながる芽が生まれた年でもありました。

本年は、いよいよ具体的に進められようとしている地方分権時代にふさわしい態勢の整備を進めるとともに、西暦2000年まであと1年となった年が新しい世紀を切り開くにふさわしい意義ある年となるよう努めてまいりたいと考えております。

市民のみなさまのご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年一年がみなさまにとって幸い多い年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。





1月号 もらつき

前略

写真は「広報のほりべつ」
1～12月号の表紙

特 集

1999年の私



2月号 成人祭



3月号 湯まつり



4月号 卒業式



5月号 入学式



6月号 やぶさめ



7月号 田植え



8月号 ラブグリーン
フェスティバル



9月号 流しそうめん



10月号 クロスカントリー
レース



11月号 かあちゃん
オリンピック

20世紀も残すところ、あと2年。みなさんは、1998年をどのように過ごされましたか。

今号では、仕事や世相、家族、趣味、市政、1999年を迎える自分への激励などを「広報のほりべつ11月15日号」などで募集し、寄せられた「手紙」を「前略1999年の私」と題して紹介します。「手紙」には、1998年を振り返って、楽しかったことや悲しかったこと、うれしかったこと、つらかったこと、抱負、計画など、1999年の自分に向けた内容がつつられています。

みなさんも、昨年を振り返り、今年の自分へ「心の手紙」を書いてみませんか。



12月号 稲刈り

1999年が明るい年になりそうです

昨年は、春に長男の結婚、秋には自分史(1)の出版と新聞への随筆(連載)投稿、夏と秋の収穫など、一年がアツという間に通り過ぎていったように思います。

収穫といっても、トマト、ナス、キュウリは日照不足による不作に加え、秋大根の一部に過去にない虫がついて葉が枯れてしまうハブニンクもありましたが、暮れには何とかぬか漬け、かす漬け作業を終えました。

今年の2月には、三人目の孫が誕生する予定で、1999年が明るい年になりそうです。

費用をねん出して、自分史(2)も出版したいし、水洗化トイレ工事もわが家が始まります。これには50万円近い出費となり、年金生活者には頭の痛い話です。

商品券支給といったごまかしの政治ではなく、国民一人ひとりが豊かで最低限の生活(憲法)が保障される政治の実現を心から願ってやみません。(片倉町/65歳 藤原正敏)

新たな命がはぐまれる春が待ち遠しい

教育委員会が主催する「クマさん博士講座」に参加した市内の小中学生が、年4回、春夏秋冬に「のぼりべつクマ牧場」のある四方(よしかた)に來ます。

2000年に市民がこぞって参加できるイベントを!



かわにし さとる 川西 悟

登別東町・自営業/50歳

登別市が誕生して30年になるのが、西暦2000年です。この年を、21世紀に向けた記念すべき年にしようという目的で、2000年委員会が発足しました。委員会では、市民がこぞって参加できる事業は何か、そしてアイデアを集めています。

「北海道は素材の生産地で、それを食べるとすごくおいしい。しかし、その料理は、何回も足を運ばせるほどの深みに欠ける。きっと、手を加え、材料の持つ味以上のおいしさを出す研究が不足しているからだ」と聞いたことがあります。この話を、普段お世話になっているレストランのオーナーにすると、「人と材料と火加減、それに食べる人が一体となったとき、気の入った迫力(エネルギー)のある料理になるような気がする。どこかテンポの合わないのがあると、どうもうまくいかないんだよねー」。こんな話を聞き、2000年に向けた事業を企画する者として、メンバーは優秀、スタートの時期も良し、住んでいる所が舞台なのだから、一人ひとりが気迫のある演技ができ、外から見て迫力を感じる、そんなシナリオを書きたいものだと思っています。

今年こそ自分史の完成を

今年こそ何が何でも完成させようとしていることがある。それは、自分史を完成させることである。数年前から手掛けて骨子はできている。

しかし、内容が充実せず、中途半端である。

日記を付けていたわけではないので、古い過去のことを思い出すのは容易でない。古い写真を引き出して裏に書いた年月日で当時を思い出し、個条書きにしてメモっておき、思い付いたことを継ぎ足し、それを順番に組み合わせて骨子ができた。それに内容を肉付けしての文章づくりが大変である。何にもしていない



選手生活を終えて

今、振り返ってみると、私にとって水泳生活は本当に大切なものでした。競技者としての成績は、高体連の全道大会で優勝し、全国大会にも進むことができて、とても充実したものでした。

水泳をしていて、記録だけでは無く人間としても成長できたように思います。これまで水泳を続けているなければ、各地の友人やコーチ、

私は、その日が一番楽しくて、いつも心待ちにしています。

昨年の秋の「クマさん博士講座」では、みんなで拾ったドングリを3列に分けて植えました。1列目は、リスなどの動物が穴を掘って貯蔵するために埋めるまねをして植え、2列目は、落ち葉の下にミズナラの木からころころ転がったように植えました。3列目は、そのままからポトンと落としてみました。1999年の春には、それが芽吹きます。

さて、どんなかわいいミズナラの赤ちゃんが生まれてくるのか、今からわくわくします。

今年も久しぶりに、クマ牧場で小グマが誕生する予定です。

新しい命は、いつも私たちを幸せに元気づけてくれますね。

(登別東町・ヒグマ博物館学芸員/50歳 前田菜穂子)

そして今まで一緒に練習をしてきた人たちに出会うことも、登別南高校に進むこともなかったと思います。

一つの物事を続けることや全力でやることの大切さなどを、私は水泳から学びました。こうしたことは自分一人では決してできなかったことで、周りの人たちのおかげだととても感謝しています。

選手生活を終えて、少し寂しい気がします。でも、私は来春から介護福祉士になるため、専門学校へ進みます。今まで続けてきたことを生かして、社会の役に立つ介護福祉士を目指していききたいと思っています。

点訳活動に情熱をかけて

昨年、点字が大流行のように中高生、学校単位で点字体験が行われ、

私にとって、1998年という年は、たくさんの別れと出会いがありました。

以前に通学していた札幌小中学校が廃校となり、30倍以上の人数がいる幌別中学校に転校したころは、今まで学年で一人だった私にとって、団体行動というものがあったわかりませんでした。

でも、日がたつにつれて友達もでき、勉強も部活も今まで以上にがんばれるようになってきました。

それは、同学年という自分と同じ「位置」で努力している人が、周りにはたくさんいるということが分かったからなのかもしれません。

転校して初めて同学年の大切さを知ることができました。

1998年は、毎日がとても新しく、そして自分も日々変わっていくような気がして、とても楽しい日を過ごすことができました。

今年受験生ですが、2000年になったときに決して後悔せず満足して振り返れるような年にしたいです。

札幌市・幌別中学校2年/14歳



近井美絵

新しい自分と 出会う



▲点訳された「のぼりべつ市民便利帳」

登別市点訳赤十字奉仕団の一員として活動している私にとって、視力に障害をもつ方を理解してくれることは何よりうれしいことです。

市の依頼で点訳した市民便利帳と避難所地図がNHKや新聞で紹介され、また、団員の日ごろの努力が実り、全国防犯協会の中央大会で功労ボランティア賞を東京明治記念館にて、点訳赤十字奉仕団委員長と共にいただいたことができました。釧路で行われた東北新潟北海道ブロック大会への出席、白老町の中学生一日点字体験、伊達市点訳講座、登別市初心者点訳講習、研修会、視力に障害をもつ方との交流会など、例年より忙しい一



特集 前略1999年の私

年間でした。

今年も、登別大谷高校から週一回、生徒への点字指導の依頼がきています。若い世代に点字の理解を願いつつ、視力に障害をもつ方に多くの情報を提供し、今年も点訳活動に情熱を注ぎながら、視野を広げていききたいと思えます。

(桜木町・主婦/53歳 志賀征子)

社会人としての

自覚をもって 頑張っていきたい

今年3月で学校生活を終了し、4月からは社会人として世に出る。

まだ先のことのように思っていたのに、いつのまにか目前まで迫ってきていた。振り返ると昨年8月、新日鐵体育館で行われた産業展に日本工学院が出席した折り、パソコンを

使いブリクラ展示を手伝ったことを思い出す。わずかな期間ではあったが、いろいろな企業の人たちが行う営業活動を目にすることで、学校では学べない体験学習ができた。

学生としての残る行事は、成人式と卒業式だけになってしまった。最後の卒業式は、暗れ着姿で出席したいと考えている。

自分の希望していた職種に就けたのも、就職活動の後ろ盾をしてくれた先生のおかげです。そのご厚意にこたえられるようバリバリ働きたい。

今はまだ学生気分、周囲や自分に対する甘えが抜けていない。

4月からは社会人としての自覚を持ち、一人前のCADオペレーター(コンピューター利用設計システム)の操作担当者)になれるよう頑張っていきたい。

(富岸町・日本工学院北海道専門学校2年/19歳 長沼祐美子)

登別商工会議所婦人会での活動を終えて

私は、登別商工会議所婦人会のメンバーの一人です。

昨年も会を通じて、いろいろな形で社会参加の機会がありました。

一つは、地方自治法施行50周年を記念して、登別市議会が主催した「女性模擬議会」に団体推薦として参加したこと。28人の「女性議員」は、2月18日の模擬議会に向けて4つの委員会に分かれ、数回の勉



▲平成10年2月18日に行われた「女性模擬議会」

強会の後、本議会に臨んだのですが、それを通じて市議会というものが、どのようなプロセスを経て市民の要望を取り上げ議論されていくのか、少しでも知り得たことは私にとって大変収穫であったと思います。

7月には「のぼりべつ豊水まつり」に参加しました。祭りでは「女性腕相撲大会」を催し、大いに盛り上がりました。今年はずっと工夫を凝らし、良い景品も用意して多くの方の参加をお待ちしたいと思います。

10月23日には、恒例のチャリティーパーティーを開くことができました。多くの市民の方に出席していただき盛会でした。これは、ひとえに協賛していただいた業者の方、そしてパーティー券をお買い求めいただいた多数の市民の方のおかげにほかなりません。厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、パーティーの益金は、昨年も市の福祉関係に寄付することができました。

婦人会の構成メンバーは、商工業の女性がほとんどですので、自分た

私の、昨年の「広報のぼりべつ新年号」に自分にあてた手紙を載せていただき、その中で「今年はやる気、負けん気、元気」の気の三つの言葉を書きました。そして、その言葉をいつも頭の中で思い、自分に言い聞かせ、毎日楽しく趣味もやって頑

1999年 市民に待たれる 広報紙をつくって!

この活動が日ごろお世話になっているこの街のため、微力でもお役に立ちたいと思っています。

依然として社会経済は厳しく、景気低迷は続いておりますが、21世紀まであと一歩。1999年の明るさを切望し、生きていきたいと思っています。

(新生町・自営業/秋山長女)



ころ、早期発見で、リンパのがんがある。その場で後のことを考えて、乳房を全部切除しました。

私は麻酔でこん睡し、数時間してベッドの上で気が付き、目を開けてびっくりしました。私の周りには主人の年老いた母や姉妹兄弟夫婦がいて、心配そうに代わる代わる手を握ってくれたのです。私は、そのうれ

張って生活してきました。

この夏には、毎年受けている生活習慣病(成人病)の検査を受け、乳がん検査を行ったのですが、医師から「？」であると言われました。内心どうしようかと思いましたが、入院して手術を受けたところ、手術から4カ月がたち、今ではまた趣味をいろいろとしながら、広報が届けられるのを楽しみにしています。毎月の広報を拝見し、市で行っている仕事や知らなかったちよつとしたこと、まちの様子などが分かり、うれしく思っている一人です。

この広報をつくっている方のご苦労を考えると、大変な仕事だと思えますが、どうか1999年も市民のみなさんに待たれるような写真・情報など、たくさん広報に載せてくだ

これからも がんばりマス



えりかわ ゆう こ
江利川 悠子

若草町・介護福祉士/20歳

ボランティアサークル「ひこうせん」。「ひこうせん」は、同じ専門学校に通う6人のメンバーでスタートし、2年半たった現在も同じ顔触れで活動している。専門学校の2年間は、市のボランティアセンターを通しての活動を中心に、障害をもつ方との日帰り旅行などを企画実行した。

去年の夏、メンバー全員が就職し、活動の機会は減ったが、夏には全員が参加して小旅行をおこなった。

設立してから3回目の小旅行だったが、いつも計画の甘さを痛感させられる。

最近では、会う機会や活動があまりできないが、みんな「ひこうせん」を気に掛けている。

そして、見守ってくれている人々がいる。

これからは、今までの経験を通して、少しずつ活動の幅を広げていきたいと考えている。

さい。頑張ってくださいね。

私も、また1999年は「やる気、負けん気、元気」で暮らしたいと思っ
ています。

(富士町・主婦/58歳 山田満智子)

元日に

『みこし』やるぞ!

1998年7月19日(日)、祭り日よりの炎天下の中、仲間内でつくる「のぼりべつどきどき村」で豊水裸みこしをやりました。終わった後の酒がどれだけおいしかったことか…。

そして今年、午前零時より寒空(?)の中、「どきどき村」初の単独イベント「元日裸みこし」をやりま
す。(この文が読まれるころには終
わっているでしょうが)

このみこしが終わった後、仲間と

呑む酒はどんな感じな
のでしよう。今までに
ないくらいすく、す
つこくおいしい酒が呑
めるのでは(?)と思
います。(次の日は、

仕事にならないでしょう…)

そして、もっともつと多くのイベ
ントに参加して、みんなとおいしい
酒を呑みたいと思います。

随時、担ぎ手募集中。(笑)

(片倉町・コンビニ勤務/25歳 佐々木隆行)

さまざまな経験を

与えてくれた『書道』

1998年は私にとって最高の一
年でした。高校生になって放課後の
毎日を「書道部」で活動するようにな
って3年目の1998年は、念願



▲「のぼりべつ豊水まつり」での裸みこし



特集 前略1999年の私

であった「全国高等学校総合文化祭」
に出場することができたからです。

「全国高等学校総合文化祭」は、
鳥取県で8月7日から11日までの日
程で開催されましたが、展覧会場を
圧倒する作品群は、北海道代表の10
点を筆頭に沖縄県代表の3点に至る
まで、それぞれの特徴があり、私に
はどの作品も素晴らしいと感じられ、
大いに感動しました。

会場で、自分の作品が見劣りしな
いかドキドキしましたが、努力した
かいがあつたように思い、うれしい
瞬間でもありました。

また、北海道代表のほかのメンバ
ーたちとも「書道」を通して深いき
ずなができ、さらに他県の人たちと
も交流を深めることができ、全国の
仲間とともに多くの経験ができて本
当に充実した年になりました。

いよいよ1999年は社会人。高

シルバーになっても 働くことのできる 喜び



やま だ しょう じ
山 田 昭 二

新生町・シルバー人材センター会員/71歳

校時代に培ったことを忘れずに努力
したいと思います。

(常盤町・登別大谷高校3年/18歳
川村宏克)

今年も

『登別地獄まつり』に

参加したい



サム 参
ジェ 在
バク 朴

日本において、こうした有益な研
修の場を与えていただいたことに對
し、登別市に感謝申し上げます。

特に、心柄広い市長と市役所や民
間団体の職員、そして、市民のみな
さま、いろいろお世話になりました。
ご親切は忘れません。

20世紀末のうさぎの年を迎えて、
家族と一緒にむつまじく暮らして職
場で昇進したいです。また、日本語
能力試験に合格したいです。

国に帰っても、日本について一生
懸命学びたいと思っています。そし
て、緑が豊かで豊富な湯量と多種の
泉質を誇る登別温泉を宣伝して、家
族と共に今年の「第36回登別地獄ま
つり」へぜひ参加したいです。

本当にありがとうございます。

(協力交流研修員/40歳 朴在参)
※朴さんは、自治体職員交流事業

「ベッタン、ベッタン」。

突然、体全体に染みわたるような元気
いっばいの響き。何かと思って部屋に入
ってみると、うすときねでもちつきの真
っ最中。時は、雪のちらつく1月の半ば
過ぎ。労働福祉センターの一室でのこと
です。

また、部屋の片側では、「手打ちそば」
の仕込みが始まっているところでもあり
ました。

毎年、シルバー会員の親ぼくを目的と
した年の最初に行われる行事が、この
「新春シルバー祭り」でした。

今年もまた、日本人の平均寿命が延び
たと報じられました。

しかし、喜んでばかりはいられません。
高齢化社会が急速に進み、高齢者が4人
に1人の割合を占めるに至るのも刻一刻
と目前に迫りつつあります。

現実、私たちを取り巻く環境は厳しさを
増し、このような中において、シルバー
になっても就業できるということはなん
と素晴らしいことではないでしょうか。

健康で明るく働くことができるのなら
ば、シルバーとして最高と考えているの
が今日このごろの心境です。

の協力交流研修員として、平成10年7月上旬から12月中旬まで、国際交流室に籍を置き、積極的に活動をしてきました。自治体職員交流事業とは、外国の自治体職員を受け入れ、日本の行政の仕組みを伝え、地域住民との交流を図ることを目的とした自治省が行っている事業で、韓国全羅北道庁内務局職員の前さんは、登別市で2人目の協力交流研修員。

私の新しい手帳

使い込んで、角が擦り切れた黒い手帳。1年間のスケジュールがびっしりと書き込まれています。

もし、人が生まれながらに、男だから、女だからといって、役割や予定の決まっている手帳を渡されたらどうでしょう。

「のぼりべつ男女共同参画懇話会」のメンバーとなって1年間。私が気付いたことはそのことです。

子どもも大人も、お年寄りもハンディキャップをもった人も、みんな物事を自分の意志で決めることがで



▲「のぼりべつ男女共同参画懇話会」

きる社会が、豊かな社会と呼べるのではないのでしょうか。

さて、私の新しい手帳。今年こそは、自分にとって大切なものだけを記入した、ぐっと空白の多いページを増やしたいと思っています。

毎年、そう思うのですが、なかなか実現しません。

今年こそは、意志を強くもって！
(若山町・主婦/42歳 三澤由比子)

市民の方が参加できるイベントを

「この古着いくらですか。まけてください」。こんな会話がフリーマーケット会場によく聞かれる。

アイニスでは、手づくりのフリーマーケットをテーマに、現在まで18回開催し、昨年の2月からは毎月実施し、雑誌にも紹介しているせいか、



はや さか まさ ひろ
早坂昌浩

今年から来年、 そして再来年へ

新生町・登別高校1年剣道部/16歳

私たち剣道部は、主将の石澤先輩を中心に、男子7人、女子5人で毎日厳しい練習に頑張っています。

なぜ、私がこの登別高校に進学したかという、平成9年度の先輩方が全道優勝という好成績を収め、その伝統を受け継ぎ自分の剣道を磨きたいと思ったからです。さすがに練習は厳しく、まず一から基本を直され、自分が「井の中の蛙」だったことを痛感し、少し落ち込む日々もありました。

しかし、顧問の先生から平成11年12月に登別で行われる全道高校剣道新人大会と全道高校剣道選手権大会の2大会で優勝というビックタイトルをとることが目標ということを知られました。私はヤル気が満ちてきて、より一層練習に取り組むことを決めました。そして、この地区大会での頑張りをよい足掛かりとして、これらの大会で好成績を収められるよう頑張ります。

登別市民のみなさま、応援よろしくお願ひします。

札幌から参加する方もあり、会場の24区画はあっというまに出店予約が入るようになった。

出店した女子高校生の一人は、知らないおばさんたちへ気軽に声を掛け、値段の駆け引きをすることが面白いといっていた。

ここ数年、環境問題が世の中で取り上げられ、個人個人に物を大切に

使う気持ちが再認識され、リサイクル意識が浸透している。

9月の「いぶり環境フェスティバル」に、会場などを含め、お手伝いをさせていただいたが、地球環境の保全を考えるさまざまな催しに、多くの市民の方が触れているところを見て感心した。

今後、フリーマーケットを含め、市民の方に参加していただけるイベントを考えていきたい。

(富士町・アイニス職員/41歳 柳澤征昭)

アメリカ研修旅行 小さな援助で青春の夢を

室蘭市内の高校に通学している孫娘は、学校側からアメリカ研修旅行に指名されたが、家庭の都合で費用が不足し、だめと聞いたのが締め切



▲「いぶり環境フェスティバル」で行われたフリーマーケット

りの1日前、母親の話である。

その夜、孫娘との電話でホームステイの話はあきらめたと聞いた。祖父の私が旅費の三分の一を援助するから行くように勧めた。

翌日、孫娘は両親の許可を受けて申し込み、参加のグループ一員に加わり、3カ月間の英語(会話)特訓で、夢のアメリカのセントジョセフでホームステイを終え、ニューヨークを経由して帰国した。

アメリカの印象は、①アメリカ人はみな優しく楽しかった、②日本文化との違いを直接学べた、③英語が片言話せた、④海外に友達ができた。帰国した孫娘に旅費の礼を言われ、私も孫の人間形成の一翼を担えたのは、1998年の収穫。

1999年は、孫娘の上級進学と聞く。私の資金援助は続き、次々の孫たちにも役立ちたい。

温かい登別市民の心

(栄町/75歳 山下玉男)

平成9年12月25日の午前11時半ごろ、自転車で買い物に出掛けた私は、若山3丁目のバス停わきの草やぶに横たわる血まみれの少年を発見しました。少年に事情を尋ねたところ、歩道上の柱に激突し、頭部をひどく打ったことが分かりました。その柱は、道の交通表示板を支えている直径30センチほどの支柱でした。幌別中学校の生徒だという少年は、幌別の自宅から自転車で買い物に行く途中だったそうで、「自宅に電話しよう」といったのですが、だれもいないとのことでした。なんとか早く救急処置を考えたのですが戸惑うばかり。救急車が来たのかと思ったら通り過ぎてしまいました。幸いにも車



特集 前略1999年の私

で通り掛かりの女性が声を掛けてくださり、一部始終を話して専門病院に運び手当てをしていただきました。その後、どう考えても歩行者の安全を考えた道路の構造ではないと思われまして、市に善処してもらおうようお願いしたところ、早速、関係先との協議の上、危険表示措置など経過説明に担当職員がわざわざ来訪してくれたので恐縮しました。

また、自家用車で病院に運んでいただいた幌別町の女性をはじめ、多くのみなさんの温かい心に触れ、遅ればせながら一言感謝の意を表した次第です。

今年も、温かい心に触れ、豊かな一年を過ごしたいと思えます。

(若山町/77歳 森田博二)

豊かで素晴らしい

ふるさとの自然に感動

私が会長を務めさせていただいている「幌別川を育てる会」は、川を昔のような「命はぐくむ豊かな川」に戻そうと活動しています。

そのためには、活動の母体である登別の河川を知ろうと、一昨年幌別川の魚類や水生生物、河畔林などの調査を行い報告書にまとめ、その結果、上流域では河川形態、河畔林など、水生生物や魚類が息するには河川環境が大変よいことが分かりました。

あらためて、自分が暮らす登別には、こんなに豊かで素晴らしい自然



▲胆振幌別川上流

が残されているのだと感動しました。後は、人がどう自然と優しくかわっていかずです。その一つとして昨年は、川に親しみながらの自然との接し方、釣り人としてのマナー、そして魚に一番優しい釣り方であるフライフィッシングの技術講習会などを行い、子どもから大人まで楽しんでいただきました。

今年もこのような講習会を開催して、自分自身も学びながら啓もうしていきたいと思っています。

また、登別に流れる多くの河川を探索し、豊かに残されている自然を再発見できればと思っています。

(美園町/66歳 河上清二)

たくさんの投稿、ありがとうございました。掲載順は不同で、敬称は略させていただきますので、ご了承ください。

ぼくは、今年の夏に室蘭で開かれた『全道小学生陸上競技交流大会』に出場し、「今年こそは」と張り切って練習していたせいか、夢の国立競技場での全国大会出場を決めました。

全国大会では、惜しくも準優勝でしたが、全国各地の人と友達になり、とてもいい経験になりました。

今年は、いよいよ中学生です。

これからも陸上を続けると思いますが、今までの経験を生かし、走るフォームや苦手のスタートを直したいです。そして、もっとタイムを縮めて、将来、日本で期待されるような選手になり、オリンピックに出場し、金メダルの重さを味わいたいです。

富岸町・富岸小学校6年/12歳



み 三 上 浩 介

オリンピックを 目指して



市政懇談会が開催されました

11月25日(水)、市民会館中ホールで「市政懇談会」が開催され、市長をはじめとする幹部職員と登別市連合町内会の方、約130人が懇談しました。事前に連合町内会から提出された「ごみの有料化と広域処理について」「公共施設整備の進め方について」「市内の公立高校の将来像について」「市内の空き店舗について」「住宅対策について」の5テーマについて意見交換を行いました。いずれのテーマも登別市全体を見据えた内容であり、出席した各町内会の方から、活発な意見が出されました。

町内会を主体とした懇談会は、連合町内会との「市政懇談会」のほか、各単位町内会を対象に、市道舗装排水や交通安全対策などの身近なテーマについて、市の課長職・係長職とヒヤリングを行う「地区課題」、地区連合町内会を対象に、部長職が出向いて懇談を行う「地区懇談会」を実施しています。

市は、住み良いまちづくりに向けて、来年度も引き続きこれらの懇談会を開催していきます。

人工透析専門の医療機関がオープン

12月7日(月)、市内初の人工透析施設「登別サテライトクリニック」(辻重所長)が中央町1丁目1にオープンしました。

この診療所は、日鋼記念病院(西村昭男理事長)が平成10年6月から建設を進めていたもので、最新鋭の人工透析用機器とベッド30床を備えたことにより、一週間に最大60人の人工透析治療が可能となりました。

同診療所のオープンで、これまで室蘭市内の医療機関に通院していた登別市内の人工透析患者の通院時間や経済的負担などが軽減されます。



親と子のふれあいを深めた一日

11月28日(土)、親と子のふれあいをより深めるため、幌別中学校を会場に「第2回登別市親子文化祭」(登別市文化・スポーツ振興財団主催)が開催されました。

同中学校の教室を利用して行われた体験教室「おもしろ工作コーナー」では、郷土資料館のボランティアグループ「S.L.G」が数日前から用意した草木染めの糸と機織り道具を使って、親子らが横糸と縦糸を組み合わせてクロス作りに挑戦したほか、こけしの絵付けや紙ねんど作り、たこ作り、竹とんぼ作りにも挑戦していました。

また、会場入り口では、老人大学大学院研究科に通うお年寄りたちの紙芝居やハーモニカ演奏が行われたほか、体育館では、貧乏神と働き者の男を題材にした児童劇「貧乏神と福の神」(劇団シアターII)公演が催され、約200人の親子らは芝居のおもしろさに見入っていました。



まちづくりに向けて意見交換

11月18日(水)と24日(火)の2日間、市役所庁舎で市長をはじめとする市幹部職員と各種団体がまちづくりに関してざっくばらんに懇談する「ふれあい懇談会」が開催されました。18日には、登別建設協会の役員と「地域経済の活性化と公共事業について」をテーマに、景気浮揚対策としての公共事業の取り組みなどについて意見交換が行われました。(写真)

また、24日の登別消費者協会との懇談では、再生紙を使用したトイレトペーパーなど、身近なもののリサイクルについて、活発な意見が出されました。

市営住宅『桜木団地6号棟』が完成

桜木町4丁目に、鉄筋コンクリート5階建ての市営住宅『桜木団地6号棟』が10月末に完成しました。

お年寄りや障害をもつ方に配慮されたこの新しい市営住宅は、3LDK16戸と2LDK24戸の合計40戸で、老朽化した同団地内の市営住宅の一部を建て替えたもの。住宅内には、エレベーターを設けたほか、ふろやトイレ、廊下に手すりを付けるとともに、建物入り口から各戸の部屋への段差を解消し、車いすなどでの移動がしやすいものになっています。

市は、平成14年度までに、同団地内の老朽化した市営住宅の建て替えを進めます。



▲段差が解消された室内



新年は自作のしめ飾りで

12月12日(日)、文化伝承館(郷土資料館横)で『しめ飾りづくり』が行われました。この行事は、手作りのしめ飾りで新年を迎えてもらおうと、年末恒例で行われている同館の人気事業です。

この日は、ボランティアグループ「SLG」メンバーの指導のもと、約50人の親子らがしめ飾りづくりに挑戦。参加者は、スゲで縄をなう慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、輪の形にしたしめ縄を松葉や稲穂、和紙で作った紅白の扇などで飾り付けし、約2時間で立派なしめ飾りを完成させました。



東海銀行が念願の全国制覇

登別市で強化合宿を行って8年目となる東海銀行女子陸上部が、11月29日(日)に岐阜県で開催された『全日本実業団対抗女子駅伝大会』(6区間42.195km)で、見事初優勝し、念願の全国制覇を成し遂げました。

各地区予選を勝ち抜いた強豪32チームで争われた同大会で同行陸上部の選手は、4区の高成田のぞみ選手が区間最高の好走、アンカーの川島亜希子選手は区間新記録で快走するなど、全員が力を出しきり、ついにその栄冠を手に入れました。同部監督の竹内伸也さんから「厳しい戦いでしたが、みなさんのご協力により優勝することができました」と市にお礼の電話がありました。

ふれあい懇談会





しげだまり

登別厚生年金病院「デイケア室」
登別温泉町133番地 (☎2165)

登別厚生年金病院(戸塚守夫院長)は、病院内で老人デイケア事業を行うため、新たに「デイケア室」を設置し、平成10年4月から事業を開始しました。

「デイケア室」は、本格的な高齢社会の到来に伴い、在宅介護を必要とするお年寄りの急増に対応するため設置されたもので、さまざまな機能回復訓練機器を備えたりハビリテーション室を利用して、充実した機能訓練サービスを受けることができたり、温泉を利用した入浴施設を活用して、入浴サービスを受けたりす

ることができま

この施設は、主に心身に障害をもち、介護や機能訓練が必要な70歳以上のお年寄りや、65歳以上で身体に障害をもつ方(障害の程度が3級以上)が利用でき、毎日15人程度の方が専用バスで送迎され、有意義に一日を過ごしています。

「デイケア室」のスタッフは、作業療法士1人、看護婦1人、看護助手2人、運転手兼助手2人の6人で、入浴や給食、機能回復訓練などのサービスを提供しています。

「市から貸与された専用バスで送迎を行うようになつた11月から、利用者は増えてきています。

つ の さちこ 津野幸子さん

昭和43年1月生まれ。30歳。年金病
看護学校を卒業後、東京厚生年金病
院に勤務。平成2年4月、登別厚生
年金病院へ転勤。「デイケア室」の
開設に伴い同室で活躍中。

ここを利用して
方は、以前に入院や
通院されていた方が
多いので、病院との
連携も密接にしてい
ます。利用者には男
性が多いのもこうした

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

柔道場「誠有館」(若草町)



子どもたちの能力は無限大。柔道を通してより良き人間形成を。

「現在、師範として子どもたちの指導に当たっている父が、この道場を開設して約17年になります。子どもたちが生き生きとして柔道に取り組んでいる姿を見てみると、父の志を継いで道場を続けてきて良かった」と話す誠有館館長の有櫛裕樹さん。

道場の開設以来、約200人を超える柔道少年少女を育成した誠有館。同館は、昨年8月に行われた「第20回全道少年柔道優勝大会」の小、中学生の部それぞれで優勝するとともに、11月に行われた「第21回全道少年少女柔道大会」の小学生男子2部門と女子高学年の部で優勝を果たすなど、全道でも有数の道場です。

「技を指導するときは、頭ごなしに覚えさせるのではなく、きちんと説明し、本人が納得できる練習をさせています。子どもたちは、みんな素直なので、技を覚えるもの早い



すね」と有櫛館長。

同館では、日常の心構えとして「ハイという素直な心」「すみませんという反省の心」「おかげさまでという謙虚な心」「わたしがしますという奉仕の心」「ありがとうという感謝の心」を定め、技術面だけではなく精神面の鍛錬にも力を注いでいます。

「このごろの子どもたちは、サッカーや野球に興味が移ってしまつて、柔道の存在が薄くなつてきているようですが、ここに来る子どもたちは、試合に勝つという目標があるので、毎日、休むことなく熱心に道場に通つてきています。大会での好成績は、日々の練習と子どもたちの精神面の強さが表れたのだと思えます」と語る館長の柔道に対する熱意が、子どもたちをさらに大きく成長させています。

誠有館に関する問い合わせは、有櫛さん(☎4312)までどうぞ。

ちよつと ひとごと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

企画広報室 中央町6-11
☎851122 FAX851108

登別東クリニックが新築移転。住民として一安心



登別東町2丁目に「登別東クリニック」が新築移転し、11月16日(月)から診療が始まりました。

登別地区は、北大登別分院と民間診療所の閉院に伴い、一時的に無医地区だったので、登別東町1丁目の仮診療所で診療されていた「登別東クリニック」の新築移転は、私たち登別地区に住んでいる者として本当に喜ばしい限りです。

四十九院正道先生ならびに関係者のみなさん、ありがとうございます。(登別東町一住民)

ごみ拾いに 感心しています

自宅近くの中学校の校長先生が、毎朝5時ごろから中学校の周辺や市民会館へ向かう道路のごみ拾いをしています。

暑い日も寒い日も、雨の日もかっぱを着て休まずにごみを拾い続ける姿には心が打たれました。みなさんにも知ってもらいたくて電話しました。(片倉町 女性)

理由によるものと思います。また、利用者の中には、痴ほう症の方もいらっしゃるようですので、それぞれの症状に合った対応を心掛けています」と話す津野さんは、看護婦としての知識を十分に生かし、スタッフと常に打ち合わせをしながら、きめ細かなサービスの提供に努めています。

「お年寄りは、ともすると孤独感に陥ってしまいますので、午前中は利用者との会話の場を必ずもつようになっています。お年寄りに新しい話題を提供し、いろいろな出来事に関心を持っていただいたり、その方の近況を聞かせていただくなど、対話を大切にしています。お年寄りは、登別温泉に到着するまでの景色や町並みの変化など、目を輝かせているような話をしてくれそうです。「デイケア室」では、利用しているお年寄りの対応だけではなく、介護相談などを通して、家族の方とも話し合いを行っています。家族ぐるみのお付き合いをさせていただくことで、家族

お年寄りとの対話の場をもつことが大切



の介護疲れの解消につながればと思っています。お年寄りの中には、最近、お化粧をするようになった女性もいて、生き生きとしてくる姿を見ると、つくづくこの仕事に携わってよかったと思います」と語る津野さんは、高齢社会を支えるマンパワーの一員として活躍しています。



まつやかつり
松屋勝則さん(27歳)
ネットヨタ苫小牧(株)登別新生店勤務

車と安心感をお届けできる
営業マンを目指します

「車をお買い上げいただくには何度も足を運び、まず、お客さまに自分を売らなければなりません。常に笑顔で接し、車と一緒に安心感もお届けできるよう心掛けています」と話す松屋さんは、ネットヨタ登別新生店の車両課に所属する営業マン。主に新車の販売を担当し、1日に20~30軒の外回りを精力的にこなしています。

「昨年8月に社名を「トヨタオート」から「ネットヨタ」に改めました。「ネット」は、ドイツ語で「ネットワーク」を意味しますが、私もお客さまとのネットワークを広げ、さらに販売台数を増やせるよう、ますます頑張っていきたいですね」と新年の抱負を笑顔で語ってくれました。





**登別が大好きになりました。
登別のみなさんは親切で、
思いやりのある人ばかり**

「旅行が大好きで、英国以外のヨーロッパやアメリカにも行きましたが、習慣や言葉がまったく違う国に行って勉強してみるのはおもしろそうだと思います。アジアの中でも、特に日本を希望して来ました。大学では、ドイツやフランスの歴史・政治を勉強するとともに、国際ビジネスについても学びました」と話すガードナーさん。

来日前にガードナーさんが持っていた日本のイメージは、日本人は背が低く、食事をするときにははししか使わず、家は木と紙だけで造られていると想像していたそうで、実際に来てみると現実とはま

ったく違っていたそうです。

「登別の人たちはみんな親切で、人懐こい人が多いようです。ここでの生活は、考えていたよりもずっと快適です。英国では、高い山が無く、雪が降ってもすぐに溶けてしまいます。登別にはスキー場があると聞いているので、以前オーストリアで見たことがあるスノーボードをしてみたいですね。これからが楽しみです」と話すガードナーさん。

**読んで書くことよりも
話すことと聞くことが
英語の基本**

「登別の中学生は、先生との距離が近いように感じます。何か問題があったときはすぐ相談しているようです。英国での先生と生徒の関係は、少し距離があって、気軽に相談できるような雰囲気にはありません。英語の授業では、「読んで書く」ということばかりでなく、「話したり聞いたり」することに重点を置いて勉強するべきだと思います。その方が、外国人との意思疎通がうまくいくと思います」。

登別に来てから一番印象に残っていることは、「昨年8月末に行われた『登別地獄まつり』の『鬼踊り大群舞』に浴衣を着て参加したことです」とほほ笑むガードナーさんの笑顔は、子どもたちに英語を学ぶ楽しさを教えてくれます。



Claire Gardner 1976年5月生まれ。22歳。

英国ロンドン北部のパーネットに生まれ、アストン大学を卒業後、日本文化や国際ビジネスを勉強したいと思い、「英語指導助手」を希望して、昨年7月に来登。

きらり

KIRARI

クレア・ガードナーさん

昨年7月から、市内の中学生に正しい英語の発音指導などを行う『英語指導助手』として活躍しているほか、市の国際交流事業のお手伝いもしているクレア・ガードナーさん。

初めて訪れたアジアの国「日本」での毎日は、見ることも聞くこともすべてが新鮮というガードナーさんに話を聞きました。

言語の壁を乗り越えて、みなさんと楽しく話したいですね。

情報あらがる

平成11年度

保育所入所児童募集

市は、平成11年度の市立保育所の入所児童を募集します。

保育所名	定員	所在地	電話番号
富士保育所	90人	富士町7丁目2-1	☎2557
幌別東保育所	90人	幌別町8丁目17	☎0151
栄町保育所	90人	栄町2丁目6-1	☎9515
鶯別保育所	90人	鶯別町4丁目36-18	☎7254
登別保育所	45人	登別東町1丁目14-5	☎1079
登別温泉保育所	45人	登別温泉町92-1	☎3078
富浦保育所	30人	富浦町1丁目53	☎1140

※入所希望者が保育所の定員を超えた場合は、公正な選考により入所を決定します。

▼入所年齢

○富士・幌別東・栄町・鶯別保育所
生後6カ月以上のお子さん

○登別・登別温泉・富浦保育所 満3歳以上のお子さん

▼対象家庭

○母親が、「仕事（家事以外）」をしている、「病氣、心身に障害がある、出産の前後」「病人の介護」などにより、日中子どもの保育ができない家庭

○母親のいない家庭

○このほかの理由で、家庭内での保育ができない家庭

▼特別保育

○富士保育所では、満3歳以上で、心身の発達に心配のあるお子さんの保育を行っています

○富士・鶯別保育所では、通常の保育時間を超えた19時までの延長保育を行っています

▼広域保育

○室蘭市・伊達市・白老町の保育所への入所を希望する方はお問い合わせください

▼申込書の配布・受付期間

1月6日(水)～1月20日(水)

※申込書は、児童家庭課（市役所1階8番窓口）、各支所、各保育所でお渡しします。

▼申込場所 児童家庭課、各支所、各保育所

▼問い合わせ 児童家庭課

(☎5634)

防災研修会を開きます

市は、登別市防災会議の構成機関である胆振支庁から講師を招き、防災研修会を開きます。

研修会では、災害が発生したときに必要な情報や心得などについての講演やビデオの上映を行います。

防災の基本心得は「自分の生命は自分で守ろう」です。

また、1月15日から21日までは「防災とボランティア週間」となっていますので、この機会に災害や防災についての知識を深め、災害に備えましょう。

▼日時 1月25日(月) 15時

▼場所 市民会館2階中ホール

▼内容 ビデオ上映、講演「いつも心に防災を」 講師：飛騨剛さん



お知らせ

「情報あらがる」に催しなどの掲載を希望する方は、企画広報室へお問い合わせください。
なお、営利を目的とするものなどはお載せできませんので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ
企画広報室
(☎1122)

(胆振支庁地域政策課防災担当 査)

▼入場料 無料

▼問い合わせ 総務課

(☎1130)

所得税の還付申告は

1月から受け付けます

年の途中で退職し、年末調整を受けていない方や多額の医療費（10万円か所得の5%のどちらか少ない額を超える金額）を支払った方、10年以上のローンを組んで新築や中古の住宅を取得し入居した方などが、所得税の還付申告をすると、納めた税金が戻ることがあります。

還付申告の受け付けは1月6日(水)から税務課市民税係（市役所1階6番窓口）で行いますので、早めに手続きしてください。

なお、所得税の確定申告の受け付けは、2月16日(火)から行います。
※確定申告と市・道民税の申告については、「広報のほりべつ2月1日号」の折り込みでお知らせします。

▼問い合わせ 税務課

(☎1155)

今月の「広報のほりべつ」は、1日号と15日号の合併号です。

かると

20歳がスタート!

「国民年金」

20歳になると、会社などに勤務して、厚生年金や船員保険、共済組合に加入している方以外は、全員国民年金に加入しなければなりません。国民年金に加入していないと、老後を迎えたときはもちろん、万一の病気やけがのため障害をもつたとき、老齢基礎年金や障害基礎年金を受けることができません。成人の第一歩として、20歳の誕生日を迎えたら必ず国民年金に加入しましょう。

▼問い合わせ 保険年金課

(☎) 17771

税に関する証明書を

各支所でも発行します

～1月6日(水)から～

市は、これまで税に関する証明書を市役所本庁舎のみで発行していましたが、1月6日(水)から、登別温泉、登別、鷺別の各支所でも発行します。(ただし、若草つどいセンター内の鷺別支所若草分室を除きます)

▼発行する証明書 所得・課税証明書、納税証明書、固定資産の評価証明書・所有証明書・公租公課証明書

▼申請方法 本人の場合は印鑑、本人以外の場合は委任状と印鑑を持参してください

▼問い合わせ 税務課

建設工事・物品などの

指名願いを受け付けます

市は、平成11・12年度の建設工事、設計、測量、物品などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を受け付けます。

▼受付期間 2月1日(月)～2月19日(金) (ただし、土・日曜、祝日を除きます)

▼受付時間 9時30分～12時、13時～16時

(☎) 1155

事業種別	受付場所	提出書類	問い合わせ
建設工事計 測量など	市役所3階 第二会議室	(社)北海道土木協会発行の市町村統一様式を使用してください (登別建設協会でも取り扱っています)	契約管財課 ☎1184
物品など	市役所2階 財政課用度 経理係	財政課用度経理係に備え付けの市指定様式を使用してください	財政課 ☎1331

※なお、登別市内に事業所を有する事業者は、課税されている市税の納税証明書を提出してください。詳しくはお問い合わせください。

橋の名前を募集します

市は、西富岸川の河川改修にあわせて、富岸町2丁目にある「富岸8号橋」の新設工事を進めています。

この橋は、富岸町2丁目と新生町4丁目を結ぶ幹線道路で、児童の通学路など地域のみなさんに利用される身近な橋となります。

だからからも親しまれ、長く愛される橋になることを願い、この橋の名前を市民のみなさんから募集します。



完成予想図 (平成11年4月開通予定)



応募要領

◆応募方法

はがきまたはファクスで、住所・氏名・年齢・電話番号・橋の名前とその理由を記入し、平成11年2月10日(水)(必着)までに応募してください

◆応募先・問い合わせ

〒059-8701 中央町6丁目11
登別市役所土木課

(☎) 3260・FAX(☎) 8286

相談あらかると

●社会保険の事務相談

健康保険や厚生年金などに関する相談をお受けします。

- ▶月日 2月17日(水)
- ▶時間 10時30分～15時30分
- ▶場所 労働福祉センター
- ▶問い合わせ 室蘭社会保険事務所 (☎247101)

●無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題について、札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。相談を希望する方は事前に申し込みください。なお、裁判や調停中の問題は相談をお受けできません。

- ▶相談日・担当弁護士
2月6日(土) 高野弁護士
2月20日(土) 芝垣弁護士
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶時間 9時30分
- ▶定員 各日5人(申込順)
- ▶申し込み 市民課 (☎51855)

- ▼募集人数 2人
- ▼応募方法 高齢者保健福祉や介護についてのご意見を800字(400字詰め原稿用紙2枚)以内にまとめ、住所・氏名・生年月日・職業・電話番号を記入の上、1月
- ▼応募資格 市内に居住する40歳以上(昭和34年1月1日以前に生まれた)の方
- ▼応募資格 市内に居住する40歳以上(昭和34年1月1日以前に生まれた)の方

高齢者・介護保険計画の委員を募集します

市は、高齢者に対する保健福祉サービスと平成12年4月に開始される介護保険制度の保険給付サービスを円滑に提供するため、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を新たに策定します。

一般家庭看護法(短期)講習会受講者募集

- ▼日時 2月3日(水) 10時～15時
- ▼場所 しんた21階多目的ホール
- ▼定員 30人
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み・問い合わせ 日本赤十字社登別市地区は、専門の講師を招き、病人を看護するための知識と技術を、実習を通じわかりやすく指導します。一日だけの短期講習ですので気軽に参加ください。
- ▼申し込み・問い合わせ 日本赤十字社登別市地区事務局(社会福祉課内) ☎1911

20日(水)までに福祉対策室へ郵送または持参してください
 ▼選考方法 提出されたレポートをもとに選考します
 ▼提出先・問い合わせ
 〒059-8701 中央町6丁目11
 福祉対策室 (☎5720)

除雪作業にご協力ください

～快適な冬を過ごすために～



また、雪の季節がやってきました。市は、安全な冬道を確認するため、除雪作業を行っています。除雪作業をスムーズに進め、快適な冬を過ごすために、みなさんのご協力をお願いします。

問い合わせ
 土木課 (☎3260)

広報のほりべつ

『特集読後』への投稿募集

企画広報室は、広報のほりべつの特集記事に関するご意見、ご感想を募集しています。

「ごみの有料化と分別」「犬・猫の飼い主のマナー」など、これまでに取り上げた特集記事を読んで、みなさんが感じたこと、疑問に思うことなどを郵送またはファクスでお寄せください。

- 用紙・書式は問いません。
- 住所・氏名・年齢・電話番号・匿名希望の有無を明記してください。

送付先

〒059-8701 中央町6丁目11
 登別市役所企画広報室
 (☎1122・FAX☎1108)

◆路上駐車・車の放置をしない
 たった1台の路上駐車のため、除雪車が前に進めず除雪ができなくなったり、遅れたりすることがあります。
 また、救急車や消防車など、緊急自動車の通行の妨げにもなりますので、路上駐車や車の放置はやめてください。

◆道路に障害物を置かない
 車が出入りしやすいように、車庫の前や車道のふちに置いてある鉄板や木材などは、除雪車を破損させたり、除雪作業を妨げたりするのを取り除いてください。

◆除雪車に近付かない
 作業中の除雪車に近付くことは大変危険です。除雪車の近くを通るときは十分注意してください。

◆道路に雪を出さない
 除雪車が通った後、道路わきに残った雪を道路に出すと、路面にわだちや凹凸ができ、ハンドルをとられたり、スリップするなど交通事故の原因となります。除雪後に家の周りなどに置かれた雪を道路に出さないよう、みなさんのご協力をお願いします。

かると

ポリオ生ワクチン

追加接種のお知らせ

市は、昨年引き続き、ポリオの免疫を保有する割合が低い昭和50年から52年までに生まれた方を対象に、ポリオ生ワクチンの追加接種を行います。

※接種を受けるには事前に予約が必要です。

▼日時・場所

日時	場所
1月13日(水) 13:00 ～13:30	鶯別公民館
1月20日(水) 13:00 ～13:30	しんた21

▼対象 昭和50年から52年までに生まれた方

▼料金 1千100円

※母子健康手帳をお持ちの方は、当日持参してください。

▼申し込み・問い合わせ 1月11日(月)までに保健福祉課

(しんた21内 ☎0100)

「サクラマス」「クロソイ」の標識魚を捕った方へのお願い

胆振太平洋海域漁業振興協議会は、漁業資源を増やすため、サクラマスとクロソイに標識を付け放流し

ています。標識魚を捕った方は、次の①から⑤についてご連絡ください。記念品を差し上げます。

- ① 採捕年月日
 - ② 採捕場所・水深
 - ③ 採捕漁具
 - ④ 魚体の全長・重量
 - ⑤ 採捕した方の住所・氏名・電話番号
- ※魚体は採捕した方に属します。



サクラマス



クロソイ

▼連絡先 農林水産課

(☎23321)

納められましたか！

市道民税(第4期)、国民健康保険税(第7期)の納期限は2月1日(月)です。

忘れずに納めましょう。市税の納入には便利な口座振替もあります。

▼問い合わせ

税務課 (☎1155)
保険年金課 (☎1771)

第28回登別温泉湯まつりプログラム

時間	行事名	会場	内容
2月3日(水) 節分	13:00 ┆ 15:00	カルルス温泉	エンマ大王の使者である赤鬼・青鬼の「湯鬼神(ゆきじん)」がカルルス温泉の湯治客を訪問し、湯鬼神かぐらを披露します。
	17:50 ┆ 20:00	登別温泉街	大勢の鬼たちがまちに繰り出し、観光客や市民のみなさんの厄払いを行います。
	20:00 ┆ 20:40	まつり広場(登別パラダイス前)	郷土芸能の湯鬼神かぐらを披露し、年男による豆まきを行います。子宝もちつき舞いでついたもちはお客さまに振る舞われます。
2月4日(木) 立春	18:00 ┆ 20:00	各旅館・ホテル	赤鬼・青鬼の湯鬼神が温泉街の旅館・ホテルを練り歩き、厄払いを行います。
	20:00 ┆ 20:40	まつり広場(登別パラダイス前)	郷土芸能の湯鬼神かぐらを披露し、年男による豆まきを行います。子宝もちつき舞いでついたもちはお客さまに振る舞われます。
	20:40 ┆ 21:00	まつり広場(登別パラダイス前)	厳寒の中、下帯姿の若者たちによる勇壮な湯かけ合戦が繰り広げられます。

※都合により時間・催し物の一部変更する場合があります

登別温泉に1,000名様 入浴ご招待!

登別温泉旅館組合は、市民のみなさんを温泉入浴にご招待します。

▶月日 2月3日(水)
▶時間 12時～15時
▶定員 1,000人(登別市民の方に限ります。なお、応募者多数の場合は抽選により決定します)

▶申込方法 往復はがきの往信の裏に代表者の住所・氏名・年齢・電話番号・入浴希望者(5人まで)全員の氏名、返信の表に代表者の住所・氏名を明記のうえ、1月20日(水)(当日消印有効)までにお申し込みください

▶申し込み・問い合わせ 〒059-0551 登別温泉町60 登別温泉旅館組合

(☎3311)

問い合わせ/登別観光協会 (☎3311)

不用品ダイヤル市

申し込み・問い合わせ
環境資源課 (☎85 2005)

おわけします(売り)

畳ベッド、二段ベッド、パイプベッド、折りたたみ机、平学習机、本棚、リビングボード、洋服ダンス、布ソファ、コンビラック、足こぎゴーカート、全自動洗濯機、2ドア冷蔵庫、炊飯器、電気カーペット、オイルヒーター、デスクトップ型パソコン、ローラースケート(23.5^{センチ})、スキー用品一式(板170^{センチ}、靴25^{センチ}、女性用ウェア)、電動三輪車(バッテリー式)、電動自転車、カラオケセット(8トラック)、カメラ、あんま機、足踏みミシン、七五三用着物一式、ボイラー、歩行器、囲碁セット、百人一首、デジタルステッパー、洋裁用裁断机

ゆずってください(買い)

セミダブルベッド、ダブルベッド、ノート型パソコン、ベビーカー(B型)、瞬間湯沸かし器、マウンテンバイク(22^{センチ})、ピアノ、電子ピアノ、本棚付き学習机、まきストーブ、スピードスケート(25.5~26^{センチ})、50ccバイク

戸籍・住民票・印鑑証明関係の窓口業務を毎週木曜日19時まで延長しています

市は、戸籍・住民票・印鑑証明関係の窓口業務(市役所本庁舎のみ)を毎週木曜日に限り、19時まで延長していますのでご利用ください。

▼延長窓口 市民課市民係(市役所1階)

▼取り扱う主な業務 戸籍、住民票(転入・転出届を含む)、印鑑証明関係、出生・死亡届、外国人登録など

▼電話予約による証明書の交付 金曜日の9時から17時までに電話で予約した場合、次の証明書に限り、土曜日の9時から12時まで交付しています

◎住民票の写し(本人または同一世帯のもの)

◎印鑑登録証明書(本人のもの)

◎外国人登録済証明書(本人のもの)
▼電話予約先・問い合わせ
市民課(☎85 1855)

第29回 小中学生書き初め展作品募集
▼登録書道連盟、文化・スポーツ振興財団共催

▼対象 市内の小中学生(幼児も可)
▼作品 1人1点、語句は自由、大きさは小画仙紙2分の1(67・5^{センチ}×35^{センチ})で縦書き(作品の裏の左下に、住所・氏名・学校名・学年を記入してください)
▼参加料 1人500円(受付時に持参してください)

▼受付月日 1月24日(日)
▼受付時間 9時30分~10時
▼受付場所 市民会館老人休養室
▼作品展示 1月30日(土)~2月1日(月) アーニス1階ホール
▼問い合わせ 成田さん (☎85 2067)

新着図書案内



◆「時代末(上・下)」 堺屋太一著
「戦争」と「奇跡の成長」、激動の100年を作った人と組織の盛衰に迫る堺屋史観が完成!



◆「女検事ほど面白い仕事はない」 田島優子著
正義を貫くのに男も女も関係ない。捜査も面白くてたまらない。だから私はこの仕事が好き!



◆「風の部屋」 藤堂志津子著
男はどうして「部屋」にやってくるのか。あたかも二人芝居のように緊迫した男女の心理劇。不倫でも旅行でもない冒険が始まる。

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

市立図書館 (☎85 4324)



日時/1月15日(金) 13時(受付12時)
場所/登別マリンパークニクス

平成十一年 登別市成人祭

▶対象 登別市に住民登録している昭和53年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた方(他市町村に転出している方でも、連絡をいただければ案内状を送付します)

※対象者には案内状を送付しますが、1月8日(金)までに届かない場合はお問い合わせください。

問い合わせ/社会教育課 (☎88 1100)

女性のための健康診査

骨粗しょう症検査を受けてみませんか？

市は、日ごろ健康診査を受ける機会が少ない女性を対象に、骨粗しょう症と成人病予防のための健康診査を行います。

▼対象 18歳から39歳までの女性
※ただし、平成8年から10年までに「女性のための健康診査」を受けた方を除きます。

▼内容 骨粗しょう症検査、血液検査（貧血・総コレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、尿検査（たん白・糖・潜血）など

▼料金 1千円
▼場所・日時・定員

健診場所	健診月日	時間	定員
市立室蘭総合病院	1月20日(木)	9:00	各日8人 (申込順)
	1月21日(木)		
	1月22日(金)	12:00	
	1月27日(木)		
	1月29日(金)		
登別厚生年金病院	1月26日(火)	10:00	各日8人 (申込順)
	1月27日(木)		
	1月28日(木)	12:00	
	1月29日(金)		
	2月2日(火)		

▼申し込み・問い合わせ 1月7日(休)から1月14日(休)（土・日曜を除く）までの9時から17時まで

に保健福祉課

(しんた21内 ☎0100)

登別市中小企業特別融資制度の融資利率が下がりました！

市内に事業所を有する方を対象とした、登別市中小企業特別融資制度の融資利率が、平成10年12月24日から引き下げになりましたのでご利用ください。

融資名	使途	限度額	償還期間	利率
一般事業資金	運転	500万円	5年以内	3年未満 年1.65%
	設備	1,000万円	10年以内	
団体事業資金	運転	2,000万円	5年以内	3年を超える 年2.05%
	設備	3,000万円	10年以内	
事業所開設資金	運転	500万円	6年以内	年2.50%
	設備	2,000万円	12年以内	
小規模商工業近代化資金	設備	2,000万円	12年以内	年2.50%
小口事業資金	事業	250万円	3年以内	年1.65%

※利率は平成11年1月1日現在のものです。

※詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ

登別市内の金融機関

(登別漁業協同組合・伊達市農業協同組合登別支所を除く)、札幌銀行東室蘭支店、北洋銀行室蘭・東室蘭・輪西各支店、登別商工会議所(☎4111)、商工労政課(☎2171)

まちの活力

市内の経済活性化のため、買い物や工事の発注などは、市内の商店・企業を利用しましょう。

みんなの力で!

第20回登別市長杯争奪

新春囲碁大会

～登別棋道連盟主催～

月日 1月24日(日)
時間 受付10時、開始11時
場所 富士会館(富士町7丁目)
参加料 会員 500円
一般 1,000円
問い合わせ 登別棋道連盟・杉本さん
(☎1253)

毎月5のつく日は しんた21の 体力測定会

しんた21の体力測定会は毎月5のつく日(5日、15日、25日)に行います。(5のつく日が土・日曜、休館日の場合は中止)

なお、測定中はトレーニングルームの一般利用はできません。

▶参加料 500円
※参加者は半そでを着用してください。



2月の体力測定会(2回実施)

日時	定員	申込期間
2月5日(金) 18:30 ～20:30	18人 (申込順)	1月18日(月) } 2月4日(木)
2月25日(木) 14:00 ～16:00	18人 (申込順)	1月18日(月) } 2月24日(木)

申し込み
問い合わせ

保健福祉課

(しんた21内)
☎0100

サッカー選手を募集します

登別大谷ジュニアユースFCは、登別市内と胆振管内の中学生で構成されるサッカーチームです。
現在、平成11年度のサッカー選手を募集しています。

- ▼対象 中学生（15歳以下）
- ▼練習日 火・木・土・日曜日の週4回（一日2時間程度）
- ▼練習場所 登別大谷高校グラウンドまたは同校体育館
- ▼申し込み・問い合わせ 小森さん ☎0271

陶芸短期教室参加者募集 ～登別地方高等職業訓練校～



- ▼月日 1月30日(土)・31日(日)、2月27日(土)（計3日間）
- ▼時間 9時～12時
- ▼場所 登別地方高等職業訓練校（2月27日(土)は健手窯）
- ▼内容

- 1コース：手びねり（茶わん、ぐい飲み、どんぶりなど）
- 2コース：板作り（コーヒーカーブ、皿など）
- 3コース：ひも作り（ふくろうの置物など）

- ▼定員 各コース15人（申込順）
- ▼受講料 2千600円
- ▼申し込み・問い合わせ 1月4日（月）から登別地方高等職業訓練校（青葉町42 ☎1450）

平成11年度訓練生募集 ～登別地方高等職業訓練校～

登別地方高等職業訓練校は、平成11年度の訓練生を募集します。

訓練科目	訓練期間	訓練時間	募集人数	対象
木造建築科	2年間	昼間訓練	各科10人	中学卒業と同程度の学力を有する方
板金科				
建築塗装科	2年間	夜間訓練	10人	高校卒業と同程度の学力を有する方
建築設計科				
OAシステム科				
経理事務科	1年間		10人	

- ▼申し込み・問い合わせ 登別地方高等職業訓練校 ☎1450

健康相談・診査

健康相談

月日	受付時間	場所
2月1日(月)	10:00～	登別公民館
2月2日(火)	10:00～	婦人センター
2月3日(水)	10:00～	しんた21
2月10日(水)		
2月17日(木)		
2月24日(木)		

申し込み
いせ
問合

保健福祉課

（しんた21内 ☎01100）

- ▼場所 しんた21
- ▼対象 育児相談を希望する方
- ▼内容 発育発達相談、栄養相談、育児相談
- ▼申し込み 事前に電話で申し込みください

3カ月児～4カ月児健康診査

- ▼月日 2月25日(木)
- ▼受付時間 12時30分～13時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成10年10月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、身体計測、栄養相談、育児相談
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

1歳6カ月児健康診査

- ▼月日・対象 ○2月18日(木)～平成9年7月1日から平成9年7月21日までに生まれたお子さん
- ▼受付時間 12時30分～13時
- ▼場所 しんた21
- ▼内容 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、育児相談、発達相談、歯みがき相談、フッ素塗布の予約
- ▼持ち物 母子健康手帳、現在使用中の歯ブラシ

3歳児健康診査

- ▼月日 2月4日(木)
- ▼受付時間 12時30分～13時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成8年1月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、発達相談
- ▼持ち物 母子健康手帳

7カ月児～8カ月児健康相談

クラス	対象	受付時間
ひよこくらす	平成10年6月生まれで第2子目以降のお子さん	10:00～ 10:30
	平成10年6月生まれで第1子目のお子さん	12:45～ 13:00

- ▼場所 しんた21
- ▼内容 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

乳幼児健康相談

- ▼月日 2月10日(木)
- ▼受付時間 10時30分～11時



▼湯鬼神



真冬でも熱い祭りが 登別にはある

さまざまな恵みと効能をもたらす温泉の豊富な湯に感謝し、開運と無病息災を祈る冬の祭り「登別温泉湯まつり」が開催されます。

今年で28回目を迎えるこの祭りは、閻魔大王の使者である赤鬼・青鬼の「湯鬼神」が温泉街を練り歩き、みなさんの厄を払うというもの。

祭りの最終日には、威勢のいい若衆たちが下帯姿で湯を掛け合う「源泉湯かけ合戦」が行われます。

寒さも不景気も吹き飛ばすような熱い祭りに、ご家族おそろいでお越しください。

▼月日 2月3日(水)・4日(木)

(詳細は18ページの「情報あらかると」をご覧ください)

▼場所 登別温泉

▼問い合わせ 登別観光協会

(☎0143-3311)

となりまち

ホットライン

室蘭市

だんバラ公園スケートリンクで

冬を楽しもう!

室蘭岳山麓総合公園(だんバラ公園)のスケートリンクがオープンします。スケートを楽しみながら、風邪に負けない体力づくりをしましょう。

▼期間 1月7日(木)～2月22日(月)

▼時間 10時～16時

※リンクコンディション、オープン日などの確認は公園管理事務所へお問い合わせください。

▼問い合わせ 公園管理事務所(☎0143-48665)

伊達市

道展・伊達移動展を開催します

どうぞご覧ください

第73回道展の移動展が伊達市で開催されます。室蘭市、登別市、伊達市などの道展会員・会友の作品と、第73回道展の受賞者の作品が展示されますので、どうぞご覧ください。入場は無料です。

▼日時 1月21日(木)～25日(月) 10時～18時

▼場所 だて歴史の杜カルチャーセンター

▼作品 日本画、油彩、水彩、版画、彫刻など92点

▼講評会 1月23日(土) 16時～(北海道美術協会本部から2人の講師を招き、作品の解説や美術作品に関する質問にお答えします)

▼問い合わせ だて歴史の杜カルチャーセンター

(☎0142-221515)

